

一般会計決算総括質疑通告書

令和 5年 9月 4日

議 会 議 長 様

会 派 名 創 新

議員氏名 原 田 壽 々 子

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 第6次総合振興計画の2年目の実績と評価は	令和4年度は、まだ新型コロナウイルスが収束したとはいえ、令和3年度に引き続き様々なイベント等が縮小・中止を余儀なくされました。このような中、第6次総合振興計画の前期基本計画が、2年目に突入しました。実行部隊である全職員の鋭意努力に真摯に向き合い、評価するために、会派創新を代表して総括質疑をさせていただきます。 (1) どのような状況であれ、町は生き物であり、人は生活し続けることから、1年間の取組内容を十分に検証し、得られた効果を明確に提示しつつ、その効果には発展性がなければならないと考える。 8つの未来像の今年度の施策の成果に対する町長の評価について、未来につながる発展性を含めて問う。 (2) 既成概念に捉われず、柔軟な発想で積極的に取り組み、結果につながった事業は。 また、その内容と評価は。 (3) 窪田町長のお考えで取りやめにした事業は、南側水路の護岸補修設計、西仮グラウンド利活用基本方針策定業務委託債務負担行為と、この2つを含めて全部でいくつあり、その予算規模はどの程度だったのか。 また、取りやめたことによる実施計画との整合性について問う。	町長 副町長 担当課長

9月 4日 午前・午後 9時20分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 町の財政指標から町の将来像を問う	(4) 第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、基本目標3の『結婚・出産・子育ての希望をかなえる』について、町長は生産年齢人口へのニーズの把握と新たな視点での施策を促していると言見受けられる。 では、町長自身、新たな視点を具体的にどのようにイメージしているのか。 (1) 杉戸町の基礎的財政収支はいずれもプラスで、地方債等に頼らず行政サービスを実施し、将来世代へ負担を先送りしない健全な財政運営ができているとしている。 では、健全であるという見解の根拠は。 (2) 扶助費は、今後減少することはないと考える。これが実質単年度収支を圧迫するとしても、将来負担比率を勘案しつつ、受益者負担の観点から、より積極的なアイデアのもと施策を推進すべきと思うが、見解は。	町長 副町長 担当課長
3. 新型コロナウイルスワクチン接種についての評価は	令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症によりダメージを受けた杉戸町を『元気にしていこう』というテーマで編成されました。その重点施策のうち、新型コロナウイルス感染症対策として、予防ワクチンの3回目、4回目の接種が行われました。そこで、以下伺います。 (1) 年代別接種割合の推移は。 (2) 町としての評価は。 (3) 令和4年度の接種状況を踏まえた今後の町の見解は。	町長 副町長 担当課長